

# 森町遺跡 発掘調査事務所



▲WEB MAP

- 所** 森町字森川町292-24
- Tel.** 01374-3-2240
- 時** 9:00~16:00
- 休** 土・日・祝日、年末年始
- 料** 無料
- ガイド** 要事前予約
- P** あり
- Taxi** 函館市内から約40分、大船遺跡から約45分
- バス** JR森駅から函館バス「函館バスセンター行き」乗車11分、「森川町四区」下車、徒歩約8分

# 森町遺跡 発掘調査事務所

## 鷲ノ木遺跡出土品や森町の縄文文化にふれられる 隠れスポットです

もともと鷲ノ木遺跡から出た大量の出土品を整理する施設でしたが、国史跡となった遺跡の重要性をふまえ、2008年に展示室が整備されました。土器などの展示のほか、ジオラマや模型、解説パネルを通して、森町の縄文文化への知識を深めることができます。



森町遺跡発掘調査事務所外観



地元の小学生が拾ったという  
手のひらサイズの土偶。



トリサキ土偶  
(鳥崎遺跡)



黒曜石製の岩偶  
(尾白内貝塚)

人形にも熊にも見える謎の石器。岩偶と呼ばれ、東北や北海道各地で類例が見つかっています。



深鉢形土器(倉知川右岸遺跡)

縄を転がすのではなく、なんとニシンの骨を転がして文様をつけている。縄以外で文様をつけることを「擬縄文(ぎじょうもん)」と呼ばれている。



深鉢形土器  
(森川3遺跡)

他の時期・地域の土器に比べて細かくせん細な文様が踊る土器。ここまでするには粘土はやわらかい必要があり、その分土器の製作は難しい。



深鉢形土器(三次郎川右岸遺跡)

ナスカの地上絵のような文様が踊る土器。